連載企画
『ちいさな企業の底力を信じて』
Vol.08

青年部OB 越智俊之参議院議員が行く

離島だからこそ、デジタルを味方にする

沖縄県の伊江島でレンタカーやマリンレジャー事業を展開する青年部員。人手不足のなかでもIT導入で省力化を図り、離島の観光産業を牽引している。



有限会社TM.Planning
代表取締役 玉城堅矢さん

背景の城山（ぐすくやま）は、伊江島のほぼ中央に聳えるシンボル的存在（標高172m）

出会う人々すべてに感謝を届ける事業を

越智　さきほど電動のトゥクトゥク（三輪バイク）に乗せてもらって島を案内いただきましたが、開放感もあって気持ちよかったです。電動で静かなので、島の風景だけでなく周囲の自然の音も身近に感じられました。

玉城　トゥクトゥクだけでなく、環境に配慮してレンタカーにもEV車種を用意しているんですよ。

越智　玉城さんは、この伊江島（伊江村）でレンタカーなどの観光客向けの事業をされているんですよね。

玉城　レンタカーやレンタサイクル事業、水上バイクやSUP体験などのマリンレジャー事業、沖縄本島も含めたエリアで修学旅行生向けの民家体感学習泊事業を手がけています。

越智　創業と事業承継の経緯について教えていただけますか。

玉城　もともとは父が1983年に創業したタマレンタ企画という会社で、レンタカー事業からスタートしました。その後、2001年に沖縄県で初めて伊江島で修学旅行生を受け入れる民家体感泊事業を始めました。私は2019年に事業を承継しています。

越智　そこで社名も変更して、新たなスタートを切ったのですね。承継はスムーズに？

玉城　父はさまざまなことに挑戦するタイプの経営者で、尊敬しているのですが、経営の数字の部分などでぶつかることもあって少し時間がかかりました。

　そして2代目として新たな気持ちで会社を切り替えたいと思って社名を変えました。TMとは、「出会う人々すべてに感謝を届けるプ



沖縄本島北部の本部半島からフェリーで30分ほどのところにある伊江島。周囲約22kmの小さな島に約4000人が暮らす



コロナ禍での対策の一環で導入したというトゥクトゥクで城山に向かう。「電動なので静かで、風も感じられます。旅行客の皆さんは、のんびりとした島の自然のなかで会話も楽しむことができますね」と越智議員

有限会社TM.Planning

住所：沖縄県国頭郡伊江村字川平310
事業概要：レンタル事業、マリンレジャー事業、民家体感学習泊事業
電話：0980-49-5208
従業員数：16人
HP：https://tmp.co.jp

ログラムを提供しよう」という新会社の理念を込め、「Thank you meet」のTとMから。旧社名のタマにもかけています。私が事業を承継してから、若者を意識したトゥクトゥクといった乗り物や、マリンレジャー事業を取り入れてきました。

人手不足対策として予約システムで省力化

越智　私は何度も離島に足を運んでいますが、伊江島でも人手不足は深刻な課題だと思います。状況はいかがですか。

玉城　私は承継してからずっと、地域に雇用を生んでお金を回して還元することを目指してきました。しかし、島には高校がないこともあって、そもそも若くてアルバイトができるような世代がおらず、さらに高齢化も進んでいます。なかなか難しい状況ですが、事業ではデジタル化でシステムを導入するなど、省力化に取り組んでいます。

越智　どんなシステムですか。

玉城　予約システムを導入しました。一般的に民家体感泊の予約は今でも、取引先の旅行会社や代理店からの電話とファックスが中心なんです。そこで当社では、コロナ禍のタイミングでものづくり補助金を活用して独自の予約管理システムをつくりました。現在は取引先にお願いして、予約はすべてクラウド上のシステムから行ってもらっています。

越智　対応にあたる人員が少なくなった分、必要な場所に人員をあてられますね。

玉城　さらに、現在はレンタル事業でも予約システムの導入に向けて取り組んでいるところです。IT導入補助金を活用して、お客様にオンラインで予約や事前決済をしてもらう仕組みに変えることで受付を無人化する方向です。以前は店頭での受付スタッフ2～3人と、さらに車などへの案内で2人程度が必要でしたが、このシステムでは、案内スタッフだけで済むようになります。

観光業は人件費がかかりますし、賃上げも必要です。そんななかで、民家体感泊の予約システムを導入したことなどで、利益増につながっています。

つながりを大事に地域の未来をつくる

越智　国などの支援に求めることはありますか。

玉城　観光産業にはまだ伸びしろがあると考えています。そのために行政とも連携し、国の支援もい



民家体感泊の予約システムは、旅行会社の担当者にIDを渡して、クラウド上のシステムに入力してもらう。キャンセルなどにも対応し、省力化だけでなく、予約管理がしやすくなった



レンタル事業の予約システムは、利用者がオンラインで予約・決済後、伊江島の店頭で自らQRコード認証を行うと、ロッカーが開き、車のキーを受け取る仕組み

挑戦できる環境を整え 人材を沖縄で育てる



「賃上げをするうえでも、稼ぐ力を磨いて継続することがとても重要です。御社は原価を抑えて利益も上げており、とても理想的な形で取り組まれていると思います」と話す越智議員

ただければ大変助かります。

越智　しっかり検討させていただきます。玉城さんたちが行う事業は、ほかの地域の観光振興や活性化にも生かせそうです。

玉城　実は今、民家体感泊事業を福岡県でも始めています。我々がもつノウハウを地元の方にしっかり伝えて実施してもらい、受け入れるホストファミリーにしっかりお金が回るようにしたいと考えています。また、後継者不在の伊江島の民宿の事業を弊社が引き継ぎ、宿泊事業にも挑戦したいと考えています。

越智　とてもうれしくなるお話です。玉城さんは現在、沖縄県商工会青年部連合会の会長も務めています。

玉城　県青連では、私が会長になった昨年から「アンダー35」という事業を始めました。発言する機会が少ない35歳以下の若い青年部員たちが集まる交流会です。このほか、高校生主体でイベントを行う事業も県青連が後援しています。

　人と人の生身の温もりや、つながりをとても大事にするの沖縄の県民性で、県内の青年部員はみんな、とても協力的です。

越智　そんな絆の強い青年部仲間と、今後もさまざまな事業に取り組んでいってほしいですね。そこで得たつながりや経験を、ぜひ個社の事業にも生かし、経営者としてさらに成長していってもらえたらうれしいです。今日はありがとうございました。



02


01

01／フェリーが着く伊江港ターミナルの前にあるTM.Planningの本社と店舗　02／島外から移住した従業員がコンテナに描いた、伊江島の絵。省力化によって生まれる余力を、こうした人ならではの仕事に振り向けていくことも、島の魅力向上の一つの形といえそうだ